

令和3年度

# 病虫害発生予察情報 第12号

## 6月月報

北海道病虫害防除所 令和3年(2021年)7月15日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

### I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

—高気圧に覆われて晴れた日が多く、全道的に記録的な多照。オホーツク海側は少雨も—

6月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、1946年の統計開始以降、北海道地方と太平洋側では6月として月間日照時間が多い方から第1位となり、記録的な多照となった。また、オホーツク海側では月降水量の少ない方から第1位の記録となった。一方、低気圧の影響や上空の寒気の流入により、大気の状態が不安定となって大雨となった日もあった。特に、4日は前線を伴った低気圧の影響で太平洋側を中心に大雨となり、えりも町目黒で日降水量257.0mmを観測するなど、多くの地点で6月として日降水量の多い方からの第1位の値を更新した。気温は、上旬は平年よりかなり高く、中旬と下旬は高く、月平均気温は高かった。降水量は、中旬は平年より少なく、下旬はかなり少なく、月降水量は少なかった。日照時間は、上旬は平年よりかなり多く、下旬は多く、月間日照時間はかなり多かった。なお、1961年の統計開始以降、上旬の北海道地方と太平洋側の日照時間は多い方から第1位の記録となった。

上旬:1~2日:高気圧に覆われて全道的に晴れた。3日:はじめ高気圧の張り出しの中で広い範囲で晴れたが、気圧の谷の接近により雨の降った所もあった。4日:前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨が降り、大雨となった所もあった。日降水量は、えりも町目黒で257.0mmなど。5日:はじめ低気圧の影響で雨の降った所もあったが、高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた。6日:気圧の谷の通過により日本海側とオホーツク海側では雨の降った所もあったが、晴れた所も多かった。7~8日:高気圧の張り出しの中で晴れた所もあったが、大気の状態が不安定となって雨の降った所もあった。9~10日:高気圧に覆われて全道的に晴れた。

中旬:11日:高気圧に覆われて全道的に晴れたが、気圧の谷の接近により次第に曇った。12日:気圧の谷の通過により広い範囲で雨が降ったが、夕方から晴れた所もあった。13~15日:高気圧の張り出しの中で概ね晴れたが、大気の状態が不安定となって雨の降った所があった。16日:はじめ太平洋側西部で雨の降った所があったが、高気圧の張り出しの中となって日本海側を中心に晴れた。17~18日:高気圧の張り出しの中で晴れた所が多かったが、湿った気流の影響で太平洋側では曇った。19日:低気圧の接近に伴って、昼過ぎから日本海側南部と太平洋側西部を中心に雨が降った。日降水量は室蘭で79.0mmなど。20日:気圧の谷の中となり全道的に雨が降った。

下旬:21日:気圧の谷の影響で広い範囲で雨が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となって夜には晴れた。22~23日:高気圧の張り出しの中で概ね晴れたが、気圧の谷や大気の状態が不安定となって雨の降った所があった。24日:上空の寒気の流入により大気の状態が不安定となって広い範囲で雨が降った。25~28日:高気圧の張り出しの中で概ね晴れたが、大気の状態が不安定となって雨の降った所があった。29~30日:高気圧の張り出しの中で日本海側を中心に晴れた所が多かったが、大気の状態が不安定となり内陸では雨の降った所もあった。29日に幌加内町朱鞠内で日降水量66.5mmなど。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間・降雪量は比(%))を示す)

	気温偏差(°C)	階級	降水比(%)	階級	日照比(%)	階級
北海道22地点平均	+1.5	高	64	少	145	か多
日本海側10地点平均	+1.5	高	59	少	141	か多
オホーツク海側4地点平均	+1.5	高	20	か少	141	か多
太平洋側8地点平均	+1.7	か高	93	並	151	か多

注)階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。

なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

## II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

### A. 水稻

#### 1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） 遅

予察田の「きらら397」における取り置き苗（接種）の初発期は、岩見沢市、比布町及び北斗市のいずれの地点において平年より遅かった。「きらら397」の本田での初発は、認められていない。

予察田におけるいもち病の発生状況

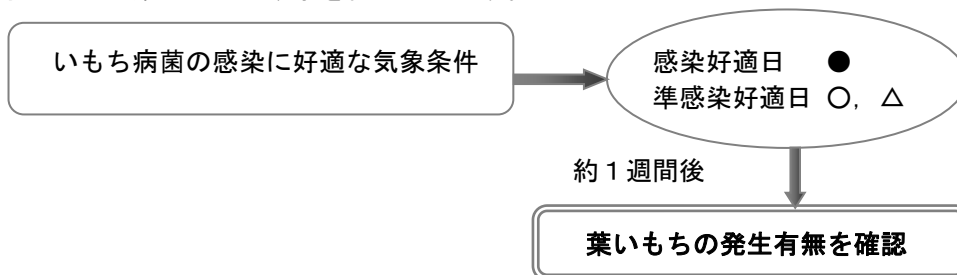
地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	7月8日	6月27日	未発生	7月21日	10
	ななつぼし	7月8日	6月27日	未発生	7月19日	10
比布町	きらら397	6月30日	6月22日	未発生	7月15日	10
	ななつぼし	7月2日	6月25日	未発生	7月16日	5
北斗市	きらら397	6月29日	6月18日	未発生	7月18日	10

注) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

#### 葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(プラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内での葉いもちの観察を行きましょう。



BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

## 2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 並

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、北斗市で平年よりやや多く、長沼町で平年並、比布町では平年よりやや少なかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	3.8	2.8	0	35.8	7.5	1.8
2半旬	0	1.5	25.0	27.8	0	1.3
3半旬	0	2.1	10.0	12.3	0	0.3
4半旬	0	0.6	0	3.3	0	0
5半旬	0	0.4	0	0.6	0	0.3
6半旬	1.3	0	0	1.8	0	0
平年数	9		10		10	

## 3. イネドロオウムシ 発生期 やや遅 発生量 やや少

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年よりやや早く、北斗市で平年よりやや遅く、比布町では平年より遅かった。幼虫初発期は長沼町で平年よりやや早く、比布町及び北斗市では平年よりやや遅かった。

卵塊数および幼虫の発生量は長沼町で平年より多く、比布町、北斗市では平年より少なかった。

巡回調査では、要防除水準（2卵塊/株）を超える地点は認められていない。

予察田におけるイネドロオウムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6. I	6. II	6. V	6. I	6. II	6. I
幼虫	6. III	6. IV	6. V	6. IV	6. V	6. IV
平年数	9		10		10	

予察田におけるイネドロオウムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)						幼虫数(25株あたり)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	3.1	-	2.3	0	0.9	0	0	-	0	0	0
2半旬	8.5	7.3	0	10.9	0	1.9	0	2.9	0	1.6	0	0
3半旬	26.5	8.4	0	17.9	1	4.4	19.5	15.5	0	11.5	0	2.2
4半旬	22.5	10.8	0	15.9	1.5	9.4	38.5	27.5	0	66.0	0	11.7
5半旬	27.5	14.1	1	10.2	1.5	6.7	67	45.6	0	105.2	9	22.1
6半旬	23	14.3	0	4.4	0	4.4	142.5	53.8	1	123.2	9	101.8
平年数	9		10		10		9		10		10	

巡回調査によるイネドロオウムシの卵塊数(25株あたり)

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬		普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬			
		本年	前年	本年	前年			本年	前年	本年	前年		
空知	本所	7	1.4	1.7	1.0	0.8	日高	西部	3	0	0	0	
	南東部	2	0	0	0	0		渡島	本所	3	0	0	0
	南西部	3	0	0	0	0.3			檜山	本所	2	0	0
	中空知	4	0	0	0	0		北部		2	0	0	0
	北空知	7	1.4	0.1	0.3	0.4				上川	本所	7	0
石狩	本所	3	0	0	0.3	0	富良野	2	0		0	0	
	北部	7	0	0	0	0		大雪	4		0	0	0
後志	本所	4	0	0	0	0	士別		2		0	0	0
		胆振	4	0	0	0			0		名寄	3	0
留萌	本所	4	0	0	0	0	南留萌	4	0	0		0	
		2	0	0	0	0							

#### 4. アカヒゲホソミドリカスミカメ(第1回) 発生期 並 発生量 並

予察灯による第1回成虫の初誘殺日は、比布町及び北斗市で平年よりやや早く、長沼町では平年並であった。予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、長沼町及び比布町で平年並、北斗市では平年より遅かった。

予察灯による第1回成虫の誘殺数は、比布町及び北斗市で平年より多く、長沼町では平年よりやや多かった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、いずれの地点も平年並だった。

巡回調査では、多発生の目安となる畦畔すくい取り捕獲数5頭(第1回発生期)に達した地点は、上川地方の2地点であった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数						畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.6	0	2.4	0	0.9	0	4.7	0	0	0	0.5
2半旬	5	2.3	1	2.1	0	0.5	0	5.3	0	2.5	0	1.3
3半旬	27	7.6	14	1.5	21	0.3	2.5	19.7	0	3.0	0	0.5
4半旬	0	6.2	1	1.5	0	2.2	5.0	5.0	10.0	1.3	2.5	1.3
5半旬	2	5.8	1	1.0	0	1.0	5.8	1.3	0	0.6	0	0.8
6半旬	12	7.9	7	2.2	0	4.2	2.5	2.8	0	0.5	0	1.3
初発期	6月10日	6月10日	6月10日	6月14日	6月11日	6月15日	6月10日	6月8日	6月17日	6月16日	6月18日	6月9日
平年数	10		10		10		9		10		10	

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成幼虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬				
		本年	前年			本年	前年			
空知	本所	7	0	0.2	日高	西部	3	0	0	
	南東部	2	1.5	0		渡島	本所	3	0.3	3.0
	南西部	3	0	0		檜山	本所	2	0	0
	中空知	4	0.8	1.0			北部	2	0	0
	北空知	7	0	0.9		上川	本所	7	0.1	0
石狩	本所	3	0	3.6	富良野		2	0	1.0	
	北部	7	0	0	大雪山		4	0.5	0.8	
後志	本所	4	0	0.3	士別		2	15.0	0	
胆振	東胆振	4	0	0	名寄		3	2.3	0	
					留萌	本所	4	0	1.0	
					南留萌	2	0	1.0		

#### 5. フタオビコヤガ(第1回) 発生量 並

予察田において、第1回幼虫の発生量及び幼虫被害は長沼町で平年より多かった。比布町及び北斗市では幼虫の発生が認められなかった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)						被害率(%)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0
2半旬	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0.0	0	0.2	0	0
3半旬	2.5	0.5	0	0.3	0	0	1.3	0.2	0	0.4	0	0
4半旬	3	0.3	0	0.7	0	0	5.3	0.8	0	1.0	0	0
5半旬	0.5	0.4	0	0.2	0	0	3.6	0.8	0	1.2	0	0
6半旬	0	0.6	0	0.3	0	0	5.9	1.8	0	1.2	0	0.0
平年数	9		10		10		9		10		10	

## B. 秋まき小麦

### 1. 赤さび病 発生量 やや多

＜5月17日付け注意報第2号発表＞

予察ほの「きたほなみ」での発生は、長沼町では平年より多く、芽室町では平年より少なかった。訓子府町では6月4半旬まで平年並に推移したが、6月6半旬では平年より多かった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、空知、石狩、上川、オホーツク地方の一部地域で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	2.81	2.02	17.35	7.94	29.33	20.09	10
		最上位葉	0.87	0.22	17.00	2.18	29.60	11.45	
		最上-1葉	2.63	1.50	18.50	8.71	28.00	24.96	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.40	0	1.27	0.01	6.47	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.32	0.00	4.72	
		最上-1葉	0	0.16	0	0.94	0.02	6.84	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.02	0.05	0.18	0.34	13.30	1.98	10
		最上位葉	0	0.00	0.02	0.04	2.51	0.89	
		最上-1葉	0	0.02	0.09	0.24	6.90	2.09	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	6	-	-	留萌	本所	4	-	-	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	0
	南西部	4	-	-			清里	6	0	0
	北空知	3	0.7	-			網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0.8	0	遠軽	3	1.3	0.7		
後志	本所	3	0	0	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	-	0	十勝	本所	7	-	-	
	東胆振	3	-	0		東部	6	-	-	
檜山	本所	2	0	1.5		東北部	5	-	-	
	北部	2	0	0		北部	3	-	-	
上川	本所	3	-	0	西部	3	-	-		
	富良野	3	-	0	南部	3	-	-		
	大雪	3	0	-						
	士別	3	3.7	3.3						
	名寄	3	-	55.0						

注1) - : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

## 2. うどんこ病 発生量 やや少

予察ほの感受性品種「チホクコムギ」における発生は、長沼町及び訓子府町では平年よりやや多く、芽室町では平年よりやや少なかった。主要品種「きたほなみ」での発生は、長沼町、芽室町、訓子府町のいずれの地点においても平年よりやや少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点ではオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	全葉	9.60	3.99	13.78	6.45	18.62	11.46	10
		最上位葉	1.25	0.68	4.69	1.66	11.28	4.84	
		最上-1葉	9.30	2.97	21.61	10.65	29.41	21.79	
	きたほなみ	全葉	0.45	0.20	0.44	0.24	-	0.26	10
		最上位葉	0.02	0	0.02	0.01	-	0.07	
		最上-1葉	0.42	0.03	0.52	0.06	-	0.18	
芽室町	チホクコムギ	全葉	0.08	6.56	5.43	10.10	11.93	14.28	10
		最上位葉	0.01	0.99	1.03	4.17	3.27	9.09	
		最上-1葉	0.07	4.52	5.10	10.39	19.51	20.76	
	きたほなみ	全葉	0	0.03	0.00	0.06	0.00	0.08	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	0	0.01	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.02	0	0.07	
訓子府町	チホクコムギ	全葉	6.20	5.64	11.20	8.09	12.40	11.62	10
		最上位葉	0	0.13	1.06	1.13	3.60	2.79	
		最上-1葉	0.34	2.13	3.50	6.20	7.70	14.56	
	きたほなみ	全葉	0.01	0.07	0.02	0.20	0	0.51	10
		最上位葉	0	0	0	0.00	0	0.04	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.06	0	0.19	

注) -: 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター	地点数	病葉率(%)			普及センター	地点数	病葉率(%)				
		6月3半旬		本年			前年	6月3半旬		本年	前年
		本年	前年					本年	前年		
空知	本所	6	-	-	留萌	本所	4	-	-		
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	0	
	南西部	4	-	-			清里	6	11.3	0.7	
	北空知	3	0	-			網走	2	0	0	
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0		
	北部	6	0	0	遠軽	3	0	0			
後志	本所	3	0	0	紋別	2	0	0			
胆振	本所	3	-	0	十勝	本所	7	-	-		
	東胆振	3	-	0		東部	6	-	-		
檜山	本所	2	0	0		東北部	5	-	-		
	北部	2	0	0		北部	3	-	-		
上川	本所	3	-	0	西部	3	-	-			
	富良野	3	-	0	南部	3	-	-			
	大雪	3	0	-							
	士別	3	0	0							
	名寄	3	-	0							

注1) -: 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

### 3. アブラムシ類 発生期 早 発生量 並

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早かった。ムギクビレアブラムシの初発期は、長沼町で平年より早かった。訓子府町では発生が認められなかった。

ムギヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町では平年より多く、長沼町で平年並であった。ムギクビレアブラムシの発生量は、長沼町で平年並であった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	1.4	1	0.3	0	0	0	16.7
3半旬	1.3	0.8	47	0.4	1.0	0	0	10.3
4半旬	1.0	2.0	27	1.7	0.5	0.7	0	4.3
5半旬	3.0	1.9	30	8.3	0.5	0.5	0	5.3
6半旬	0	3.8	16	10.7	1.0	3.5	0	11.4
初発期	6.III	6.IV	6.II	6.V	6.III	6.VI	-	6.V
平年数	10		9		10		9	

## C. 春まき小麦

### 1. ムギキモグリバエ 発生量 やや多

予察ほにおける成虫すくい取り数は、比布町で平年より多く、長沼町で平年並であった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	25.0	61.9	95	166.1
2半旬	61.3	48.2	860	243.5
3半旬	33.8	42.9	200	142.5
4半旬	15.0	9.7	70	44.7
5半旬	4.4	8.6	40	24.2
6半旬	0	2.9	10	14.7
平年数	9		10	

注) 20回振り×5日分換算値

## D. とうもろこし

### 1. オオタバコガ 発生期 やや遅 発生量 並

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、長沼町で6月15日（平年：6月10日）と平年よりやや遅かった。その他の地点では誘殺が認められなかった。長沼町における誘殺数は平年並であった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0
3半旬	1	0.2	0	0.1	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0.8	0	0.1	0	0	0	0	0	0
5半旬	1	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0
6半旬	0	0.1	0	0	0	0.2	0	0	0	0
初発期	6月15日	6月10日	-	-	-	-	-	-	-	-
平年数	9		8		6		6		6	

## 道南農試でツマジロクサヨトウの飛来が確認されています

前年8月、道内に飛来が確認されたツマジロクサヨトウが、本年は道南農試（北斗市）で7月12日にフェロモントラップで誘殺が確認されました。中央農試、上川農試、十勝農試、北見農試、花野菜技術センターにおいてもフェロモントラップ調査をおこなっていますが、7月14日現在誘殺は確認されていません。最新の誘殺状況は北海道病害虫防除所ホームページ「病害虫速報」に随時掲載します。

本種は主にとうもろこしを加害します。前年は生産者ほ場では大きな被害は確認されませんでした。本年は前年より飛来時期が早いので注意が必要です。幼虫は新葉抽出部や雌穂に潜入して内部を食害します。作物体内部に潜入すると薬剤の防除効果が得にくくなるため、葉を食害している若齢期に薬剤散布を実施しましょう。

<詳しくは、以下の資料を参照>

- ・ツマジロクサヨトウ及びとうもろこしで見られる主なチョウ目幼虫の各齢期における主な特徴及び識別法

([https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-159.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-159.pdf))

- ・ツマジロクサヨトウの登録農薬一覧

([https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-147.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-147.pdf))

- ・「ツマジロクサヨトウ」防除マニュアル本編（第2版）

([https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-150.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-150.pdf))

- ・飼料用とうもろこし及び飼料用ソルガムにおけるツマジロクサヨトウ防除対策について

([https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-161.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-161.pdf))

- ・スイートコーン（未成熟とうもろこし）におけるツマジロクサヨトウ防除対策について

([https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-156.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-156.pdf))

## E. 豆類

### 1. タネバエ（大豆） 発生量 多

予察ほの大豆における被害個体率は、いずれの地点も平年より高かった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	94.0	39.9	9.0	3.2	21.3	7.1
健全個体率	2.7	52.5	85.0	91.8	72.0	87.5
他不出芽	3.3	7.5	6.0	5.0	6.7	5.3
平年数	10		9		10	

注)他不出芽:タネバエ被害以外の不出芽を示す



## 2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 並 発生量 やや少

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町で平年よりやや早く、芽室町及び訓子府町では平年並であった。

黄色水盤による捕獲数は、芽室町で平年並、長沼町及び訓子府町では平年よりやや少なかった。  
予察ほの大豆における寄生虫数は、いずれの地点も平年よりやや少なかった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.0	0	0.4	0	0.8
2半旬	0	7.0	0	1.0	1	1.6
3半旬	0	3.4	1	0	0	0.4
4半旬	7.0	2.2	0	0.1	0	0.3
5半旬	0.6	2.6	0	0.2	0	0.5
6半旬	0.4	1.0	0	0	0	0.8
初発期	5.VI	6.I	6.III	6.III	6.II	6.II
平年数	10		10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	-	1.5	-	0	-	0.2
2半旬	-	2.7	0	0.4	-	3.3
3半旬	2.5	7.6	0	0.0	0	5.8
4半旬	5	7.6	0	2.5	5	3.2
5半旬	3	6.8	1	1.4	1	3.3
6半旬	2	3.7	2	2.2	2	3.1
平年数	10		10		9	

注1)25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

注2)-:調査不能

## 3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 やや早 発生量 多

予察ほにおける初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早く、芽室町では平年並であった。  
寄生株率はいずれの地点も平年より高かった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	-	0	0	0.2	-	0
3半旬	10	1.1	0	0.3	0	0
4半旬	52	6.0	0	2.3	0	0.4
5半旬	78	11.3	16	4.3	4	0.9
6半旬	64	8.0	48	11.1	8	4.0
初発期	6.III	6.V	6.V	6.V	6.V	7.I
平年数	9		10		9	

注)-:調査不能

## F. ばれいしょ

### 1. 疫病

発生期 —

<7月6日付け注意報第3号>

予察ほの「とうや」における初発期は、北斗市及び芽室町では平年より早かった。長沼町及び訓子府町では発生は認められていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、発生は認められていない。

予察ほにおける疫病の初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	未発生	7月16日	10
	スノーマーチ	未発生	7月21日	10
北斗市	とうや	6月25日	7月8日	10
芽室町	とうや	6月29日	7月12日	10
	スノーマーチ	6月29日	7月14日	10
訓子府町	とうや	未発生	7月13日	10
	スノーマーチ	未発生	7月14日	10

一般ほにおける疫病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	0	網走	本所	8	0	0.1
後志	本所	4	0	0		清里	6	0	0
胆振	本所	2	0	0		網走	2	0	0
渡島	本所	2	0	0		美幌	2	0	0
檜山	本所	2	0	0	十勝	本所	5	0	0
	北部	2	0	0		東部	6	0	0
上川	富良野	3	0	0		東北部	1	0	0
	大雪	3	0	0.7		北部	3	0	0
	士別	1	0	0		西部	2	0	0
	名寄	1	0	0	南部	3	0	0.7	
					釧路	本所	2	0	0
					根室	北根室	3	0	0

### 2. アブラムシ類 発生量 やや少

予察ほにおけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生量は、芽室町で平年より多く、長沼町で平年よりやや少なく、訓子府町では平年より少なかった。モモアカアブラムシは、訓子府町で発生が認められた。ワタアブラムシは、長沼町で発生が認められた。

6月6半旬の巡回調査では、全64地点中10地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						モモアカアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0	-	0.1	0	0	0	0	-	0
2半旬	0.6	1.2	0	0.1	0	0.6	0	0.1	0	0	0	0
3半旬	1.8	0.8	1.5	0.1	0	0.4	0	0	0	0	0	0
4半旬	4.2	1.0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0
5半旬	2.2	1.8	1.5	0.1	1.0	1.7	0	0.0	0	0	0	0
6半旬	0.4	2.4	7.0	0.7	1.5	6.5	0	0.1	0	0	2.5	0
平年数	10		10		10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	-	0
2半旬	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.2	0	0	0	0
4半旬	0	0.3	0	0.1	0	0.5
5半旬	0.4	1.1	0	0.4	0	0.1
6半旬	0	2.5	0	0.3	0	2.8
平年数	10		10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしよのアブラムシ類寄生虫数

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知 南東部	1	0	0	0	0
後志 本所	4	0	0	0	0
胆振 本所	2	0	0	0	0
渡島 本所	2	1.5	0	0	0.5
檜山	本所	2	0	0	0
	北部	2	4.5	0	0
上川	富良野	3	0	6.7	13.3
	大雪	3	0.3	0	1.7
	士別	1	0	0	0
	名寄	1	0	0	0
網走	本所	8	0	0	0.9
	清里	6	0	0	0.2
	網走	2	0	0	1.5
	美幌	2	7.5	0	0
十勝	本所	5	0	0	0
	東部	6	0	0	0.2
	東北部	1	0	0	0
	北部	3	0	0	0.3
	西部	2	0	6.0	0.5
南部	3	0	0	0	0.3
釧路 本所	2	0	0	0	0.5
根室 北根室	3	0	1.3	0.3	1.3

注) 10株20複葉調査

## G. てんさい

### 1. 褐斑病 発生期 早

＜7月12日付け注意報第5号＞

予察ほにおける初発期は、長沼町及び芽室町の「あまいぶき」で平年より早かった。訓子府町の「リッカ」では平年よりやや早かった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	ライエン	6月26日	7月13日	6
	あまいぶき	6月25日	7月11日	10
芽室町	ライエン	6月28日	7月7日	6
	あまいぶき	6月27日	7月10日	8
	スタウト	6月28日	7月12日	9
訓子府町	リッカ	7月9日	7月13日	10

### 2. ヨトウガ（第1回） 発生期 やや遅 発生量 並

予察ほにおける産卵の初発期は、長沼町で平年よりやや遅かった。芽室町及び訓子府町では産卵が認められなかった。

食害程度は長沼町及び芽室町で平年並であった。訓子府町では食害が認められていない。

巡回調査では、要防除水準（被害株率 50%）を超える地点は認められていない。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.9	0	0	0	0.2	0	0	0	0
3半旬	0	2.9	0	1.6	0	0	0	0.6	0	0	0	0
4半旬	0	2.7	0	1.6	0	0.7	2	2.2	1	0.3	0	0
5半旬	0	1.9	0	1.2	0	0.1	4	6.4	1.5	2.8	0	0.3
6半旬	0	0.9	0	0.4	0	0.4	12	12.5	8.5	5.9	0	1.4
初発期	6.IV	6.III	-	6.III	-	6.V						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬		
		本年	前年			本年	前年	
空知	南東部	1	0	網走	本所	9	3.1	
	石狩	3	6.0		清里	6	6.7	
	後志	3	1.3		網走	2	13.0	
	胆振	本所	4		8.0	美幌	5	0.2
		東胆振	3		8.7	遠軽	3	4.3
上川	富良野	3	1.3	十勝	本所	7	7.1	
	大雪	3	0.7		東部	5	0.4	
	士別	2	1.0		東北部	4	22.0	
	名寄	2	9.3		北部	3	2.7	
0		0	西部		3	2.0		
				南部	3	5.0		

注)50株調査

### 3. テンサイトビハムシ **発生量 やや少**

予察ほにおける食害程度は、芽室町で平年並、長沼町及び訓子府町で平年よりやや低かった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	16.0	28.3	11.0	10.4	13.0	23.4
2半旬	19.0	28.7	13.0	9.3	17.0	25.3
平年数	10		10		9	

## H. たまねぎ

### 1. 白斑葉枯病 **発定期 やや遅 発生量 並**

予察ほにおける初発期は、長沼町では平年よりやや早く、訓子府町では平年より遅かった。6月6半旬における発生量は、長沼町では平年よりやや多かった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、空知、オホーツク、十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月12日	6月17日	0	0	14.5	5.2	22.0	18.8	10
訓子府町	北もみじ2000	7月9日	6月23日	0	0	0	0.4	0	3.2	9

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	0	0	網走	本所	8	0	0
	南東部	3	2.0	0		清里	2	1.3	2.0
	南西部	3	0	0		美幌	4	0	0
	中空知	1	0	0		遠軽	1	0	1.7
石狩	北部	2	0	0	十勝	本所	3	0	1.0
上川	富良野	4	0	0		東部	2	3.0	0
	大雪	1	0	0					
	士別	1	0	0					

### 2. ネギアザミウマ **発定期 並 発生量 やや少 <7月12日付け注意報第6号>**

予察ほにおける成虫の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。幼虫の初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。被害の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。

寄生成虫数は、長沼町で平年並、訓子府町では平年よりやや少なかった。寄生幼虫数は、長沼町及び訓子府町で平年よりやや少なかった。被害程度は、長沼町及び訓子府町で平年並であった。

巡回調査では、寄生株率50%以上の地点は全40地点中、空知、オホーツク、十勝地方の計4地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.5	0	14.5	0	0.1	0	0	0.3	1.4	0	3.0
2半旬	0.5	5.6	4	18.8	0.5	1.7	0	4.2	0.3	4.0	2	5.3
3半旬	14.8	11.6	7	30.4	4	10.8	0	24.2	5.8	7.5	7	9.8
4半旬	5.5	13.9	17	47.3	12.5	44.7	0	160.7	15	12.4	21	25.3
5半旬	25	19.8	41	40.0	11	179.5	89	321.2	24	17.0	28	35.1
6半旬	35	37.8	36	61.8	113	229.1	269	638.0	30	21.7	52	42.9
初発期	5.V	6.II	6.II	6.I	6.II	6.III	6.V	6.IV	5.VI	6.III	6.II	6.I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	本所	5	2.4	0	上川	富良野	4	22.0	12.0
	南東部	3	6.7	2.7		大雪	1	25.0	0
	南西部	3	37.3	69.3		士別	1	5.0	8.0
	中空知	1	4.0	8.0		網走	本所	8	5.9
石狩	北部	2	18.0	10.0	清里		2	96.0	52.0
					美幌		4	2.0	18.5
					遠軽		1	13.0	28.0
					十勝	本所	3	33.3	6.0
						東部	2	14.0	10.0

注) 25株調査

## I. あぶらな科野菜

### 1. モンシロチョウ 発生量 やや多

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年より多く、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	6.3	13.2	13.3
2半旬	4	11.1	22.8	10.6
3半旬	10	16.1	32.4	11.5
4半旬	7	17.5	28.4	8.2
5半旬	3	12.8	20.0	8.2
6半旬	3	9.5	17.2	6.2
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

### 2. コナガ 発生量 やや多

フェロモントラップによる誘殺数は、北斗市、芽室町及び訓子府町で平年よりやや多く、比布町で平年並、長沼町及び滝川市では平年よりやや少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年より多く、長沼町で平年よりやや多かった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	7	20.9	11	31.7	56	28.9	17	12.2	3	7.5	7	5.7
2半旬	11	27.1	51	29.5	18	21.8	12	4.2	6	7.6	5	4.3
3半旬	27	35.2	27	13.5	13	29.3	7	4.6	9	6.3	6	12.2
4半旬	9	26.0	5	14.5	19	23.2	4	5.5	13	6.0	14	16.0
5半旬	8	48.3	17	15.3	39	27.0	7	6.0	12	4.9	3	13.7
6半旬	54	52.1	9	17.2	73	23.3	6	5.8	4	4.4	1	21.3
平年数	10		6		10		10		10		6	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	3.9	0.4	1.1
2半旬	1	11.0	7.6	3.0
3半旬	5	16.6	12.8	9.3
4半旬	48	30.0	36.8	9.9
5半旬	60	43.7	57.5	17.6
6半旬	146	66.1	12.0	17.3
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

## J. りんご

### 1. モニリア病 発生量 少

長沼町（無防除）及び余市町（慣行防除）の予察園では、モニリア病の発生は認められなかった。一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園（長沼町）におけるモニリア病の発生状況

品種名	昂林			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	0		
落花20日後			0	0

平年値は10年の平均値

予察園（余市町）におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	-
		6月2週目	0	-
		6月3週目	0	-

注1) 余市町の予察園は慣行防除

注2) 調査品種変更に伴い平年値なし

### 2. 黒星病 発定期 やや早 発生量 やや多

長沼町の予察園（無防除）における初発期は、「昂林」では平年より早く、「ふじ」では平年よりやや早かった。余市町の予察園（慣行防除）では発生を認めていない。

発生量は、長沼町の予察園ではいずれの品種とも平年より多かった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園（長沼町）における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	昂林	5月24日	6月11日	10
	ふじ	5月26日	5月30日	4
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園(長沼町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	昂林	5.0	3.4	15.4	5.6	34.9	7.8	48.2	11.1	48.2	14.3	60.5	19.3
	ふじ	2.8	5.7	7.3	11.5	29.1	14.0	37.1	20.9	40.2	29.8	50.8	35.0

予察園(余市町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

注1) 余市町の予察園は慣行防除

注2) 調査品種変更に伴い平年値なし

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0.0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	2	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

### 3. 斑点落葉病 発生期 早 発生量 多

長沼町の予察園(無防除)の「王林」における初発期は、平年より早かった。発生量は平年より多かった。余市町の予察園(慣行防除)の「昂林」では発生を認めていない。

予察園(長沼町)における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	6月12日	6月28日	10

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0	0	4.31	0.08	2.20	0.47	10



#### 4. ハマキムシ類 発生期 早 発生量 並

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、長沼町及び余市町Bでは平年より早く、余市町Aでは平年よりやや早かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、長沼町及び余市町Bで平年並、余市町Aでは平年よりやや少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市、増毛町で平年より多く、七飯町で平年よりやや多く、札幌市、壮瞥町及び旭川市で平年並であった。石狩市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0
2半旬	1	1.3	0	0.2	0.3	0.2
3半旬	5	4.6	0	0.6	0.7	0.8
4半旬	15	16.2	1.4	1.4	0	0.9
5半旬	19	15.9	0.6	1.5	0.4	1.3
6半旬	6	16.6	0	1.2	0.7	1.1
初誘殺日	6月10日	6月16日	6月15日	6月19日	6月9日	6月25日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		旭川市		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0	-	0	0	0.1	0	0.1	0	0
2半旬	0	0.3	0	0.4	0	0.1	0	0	0.3	0.0	0	0.9	0	0.3
3半旬	2.1	1.1	3.0	1.9	0	0.2	0	0.5	1.7	0.0	7	4.0	5.0	0.9
4半旬	10.6	2.1	5.0	4.5	0	0.5	1.4	1.1	7.5	2.0	6	7.9	6.7	1.2
5半旬	11.0	2.8	9.0	7.1	0	1.2	3.1	1.8	1.5	2.7	4	6.7	4.3	1.2
6半旬	11.3	1.7	4.2	6.5	0	3.4	3.4	1.4	1.3	5.0	0	5.6	6.0	2.1
平年数	10		10		10		10		10		10		10	

#### 5. モモシクイガ 発生期 並 発生量 並

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、長沼町で平年よりやや早く、余市町Aで平年並、余市町Bでは平年よりやや遅かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は長沼町で平年よりやや多く、余市町A及びBでは平年よりやや少なかった。

長沼町における産卵初発期は6月30日（平年：7月2日）と平年よりやや早かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市及び札幌市で平年より多く、旭川市で平年よりやや多く、七飯町で平年並、壮瞥町では平年よりやや少なかった。

予察園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0.1
2半旬	0	0.1	0	0.3	0	0.4
3半旬	3	1.6	0	1.2	0	1.5
4半旬	5	4.0	1.4	3.3	2.9	5.3
5半旬	18	6.9	1.4	5.6	4.1	7.5
6半旬	27	12.0	1.6	8.3	5.8	13.0
初誘殺日	6月13日	6月16日	6月16日	6月17日	6月16日	6月13日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		壮瞥町		七飯町		旭川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	-	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.1	0.3	0.0	0.2	0	0	0.0
3半旬	0.3	0	0	0.2	0.7	0.4	0.8	0.1	1	0.5
4半旬	1.3	0.1	0.8	0.7	0	1.1	0	0.1	1	1.2
5半旬	3.5	0.5	2.2	2.5	0.4	2.9	0	0.3	2	4.7
6半旬	5.0	0.7	18.3	6.2	1.1	5.8	0	0.8	20	7.5
平年数	10		10		10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 少

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、長沼町、余市町A及びBのいずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0
2半旬	0	0.7	0	0.2	0	0	0	0	0	0.3	0	0
3半旬	0	0.1	0	0.4	0	0	0	0	0	0.3	0	0
4半旬	0	0.1	-	0.5	-	0.3	0	0.2	-	0.3	-	3.3
5半旬	0	0.5	0	0.2	0	0	0	0	0	1.0	0	3.2
6半旬	0	0.5	-	0.1	-	0.4	0	0.2	-	7.1	-	2.0
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 並

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、長沼町及び余市町Bで平年よりやや多く、余市町Aでは平年並だった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市で平年より多く、増毛町で平年よりやや多く、壮瞥町および石狩市では平年より少なかった。札幌市及び旭川市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.7	0.9	1.2	0.1	1.2
2半旬	0	0.3	0.3	0.7	0.6	0.7
3半旬	0	0.3	0.7	1.6	1.4	1.1
4半旬	0	0.7	6.4	5.0	22.1	11.8
5半旬	10	2.8	5.6	9.7	31.1	21.8
6半旬	4	2.9	11.8	20.6	50.0	32.1
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		壮瞥町		旭川市		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	0	0.1	0	0.1	-	0.2	0	0	0	0.7
2半旬	0	0.2	0	0.3	0	0.1	0	0.1	0	0	1	0.1
3半旬	2.1	0	0	0.4	0	0	0	0.6	0	0	0	0.1
4半旬	10.6	0	0	0.6	0	0	0	3.3	0	0	5	4.8
5半旬	11	0.3	0	0.7	0	5.3	0.4	21.6	0	1.1	53	47.5
6半旬	11.3	1.4	0	0.5	1	8.9	0.6	33.0	0	0.7	164	54.4
平年数	10		10		7		10		10		10	

令和3年

## 6月15日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

### ★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課  
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)  
北海道病害虫防除所  
(TEL 0123-89-2080)  
各総合振興局・振興局農務課